

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	663-6 観光振興事業(ニューツーリズムの推進)	会計	01	一般会計
		款	07	商工費
		項	01	商工費
		目	03	観光費
基本 施策	44 資源とともなしの心を活かし、観光を振興する	細目	336	観光振興経費
		細々目	01	観光振興経費
行革大綱の重点事項番号				
担当部署	コード	191400		担当者
	名称	産業建設部商工労働観光課		氏名
			川部 千佳	連絡先
			43 -	2309
			(内線)	

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	市内、市外及び県外の観光客	※対象件数
成果(どうする)	多様な観光ニーズに対応するため、「菜の花プロジェクト」と連動させる形で新たな観光商品を開発し、市街地と周辺部を結びつけるグリーンツーリズムやエコツーリズムなどニューツーリズムを推進する。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H21 事業 内容	○菜の花プロジェクトの観光面で活用のため、伊賀鉄道沿線を菜の花でいっぱいとし、通勤・通学利用の路線から観光利用路線を目指す「菜の花列車」の運行をめざし、沿線での菜の花の種まきなどのイベントを開催し、新たな観光商品化への検討を行った。 ※平成21年11月3日「伊賀鉄道菜の花いっぱい大作戦」開催 ○BDF燃料で走るラッピング公用車により観光PRとともに菜の花プロジェクトのPRを行った。	
社会情勢 の変化等	昨今、観光バスで多くの観光地を移動する周遊型観光から個人旅行の滞在型観光へ観光ニーズが大きく変化してきており、着地型観光商品の開発による、多様なニューツーリズムへのニーズへの対応が求められている。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			ニューツーリズム創出のためのイベント等の開催回数	回	目標 実績	目標 実績

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				年間(暦年)の観光入込客数	人	過去3年間の観光入込客数実績平均を目標値に設定し、当該年度を評価	目標 実績

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
直接事業費計(A)		4,128		0		3,000		
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								0
一般財源	0	4,128	0	3,000				
事業投入人件費(B)	0.1人	720	0.5人	3,600	0.1人	720	0.1人	720
フルコスト(A)+(B)		720		7,728		720		3,720

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
有効性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	観光振興を積極的に取組むことによって集客交流が促進され、それに伴い経済活動や地域の活性化が見込まれるため、伊賀市が観光都市として進むことへの市民ニーズは高い。	○
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	地域産業や地域経済が疲弊している状況においては、観光産業は成長性の高い産業であり、また波及効果の範囲が広い産業であるため従来にもまして重要な役割を担い、経済活性化への切り札になりうるものと考えられ、市民生活にプラスの影響を与えることができる。	○
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
効率的性	予算の繰越の有無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	新たな観光ニーズへの対応を図る。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	地域の賑わいづくりの観点から菜の花プロジェクトと連動させたイベント等の開催をし、新たな観光ニーズへの対応としてグリーンツーリズム推進に向けた取り組みを行った。また、BDF燃料で走るラッピング公用車により観光PRとともに菜の花プロジェクトのPRを行った。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	松本 浩典
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	* 菜の花プロジェクトと連動させ、グリーンツーリズムや産業観光などを推進する。
現時点における課題、その他	* ニューツーリズム創出に向けての予算確保
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	グリーンツーリズムなどの新たな観光ニーズに対応した観光商品メニューの充実を今年度において検討する。